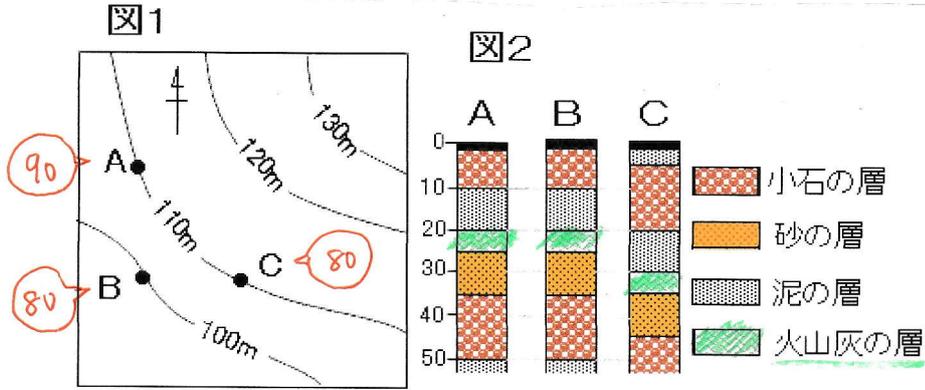


問題 図1はある地域の地形図で、実線は等高線を示している。
 図2は図1の中のA~Cの各地点でボーリング調査を行って作成した柱状図と、地表面からの深さを示したものである。
 この地層は、どの方位に傾いていると考えられますか。



ここでも同じく火山灰の層(かぎ層)に着目。

- ☆ Aの地点の標高は図1より110mとわかる。
 かぎ層は20m掘ったところにあるから、 $110 - 20 = \underline{90\text{ m}}$
 のところにかぎ層があるとわかる。
- ☆ Bの地点は標高が100mで、かぎ層は20m掘ったところにあるので、 $100 - 20 = \underline{80\text{ m}}$ のところにかぎ層があるとわかる。
- ☆ Cの地点は標高が110mで、かぎ層は30m掘ったところにあるので、 $110 - 30 = \underline{80\text{ m}}$ のところにかぎ層があるとわかる。

↓

つてことは、BとCは同じ80mで、Aだけ90mと高いことがわかる。

図1の等高線を見ると、B-C間(東西)には傾きがなく、AからBやCの方向(北南)に傾いている(下がっている)ことがわかるので、

これは(南)の方向に傾いている。